CALFRESH給付
家庭の変更報告の方法

CalFresh（旧フードスタンプ）受給家庭は、所得や家庭状況の変更を報告する義務があります。報告の仕方、報告する事項、必要な証明書等に関し不明な点があれば、担当者にご相談ください。あなたは以下による理由でこの通知を受け取っています。

☐ CalFresh給付が承認されており、「変更があったら報告する方式」ベースで変更を報告するため。

☐ 世帯は以前年2回の報告ステータスが割り当てられていたが、現在は「変更があったら報告する方式」ベースで報告するため。

変更があったら報告する方式の要件は以下の通りです。

変更があったら報告する方式

次のような変更事項は、10日以内に報告**しなければなりません**。

- 勤労所得を得る場所に変更があった場合、あるいは家庭の勤労所得に開始や中止、または$100.00以上の変更があった場合。
- 不労所得を得る場所に変更があった場合、あるいは家庭の不労所得に開始や中止、または$50.00以上の変更があった場合。
- 家庭構成員いずれのものであれ、所得源となるものに変更があった場合。
- あなた自身が他の誰かと同居するようになった場合や、新生児、他の子供、配偶者、親類その他が同居するようになった場合や家庭から出た場合。
- 別の住所へ引っ越す者、引越し予定の者、新たな郵送先を取得する者。
- 家庭の現金、株式、債権、その他の資産の総額が$2250を超える場合（家庭構成員に年齢60才以上あるいは障害者がいる場合は$3250）。
- 同居していない子供に関し、家庭構成員が支払う裁判所命令の養育費の額に変更があった場合。
- 扶養者のいない健常な成人（Able Bodied Adult Without Dependents, ABAWD）の就業規則を満たし、労働時間が週20時間、月80時間未満になった場合CalFreshの規則では、就労していないか、その他の許容活動に参加していないABAWDに対し、CalFreshの給付を3年間に制限します。次の場合は、ABAWD就労規則から免除されます。労働時間の減少を報告する必要はありません。
  - 失業率が高いことによりABAWD就労規則が免除されている郡に住んでいる場合。
  - 18歳未満、または50歳以上の場合。
  - 身体的または精神的に、就労には向いていないと医療的に証明されている場合。
  - CalWORKs（カリフォルニア州就業の機会と子供に対する責任）のWelfare-To-Work（福祉から就業へ）規則を満たしている場合。
  - 30日以上手伝いが必要な負傷者または病人を看病している場合。
  - 1週間に30時間以上就労することができないアルコールや薬物治療プログラムに参加している場合。
  - 失業保険の給付を受け取っている、または申請した場合。
  - 少なくとも1週間に30時間就業もしくは自営しているか、最低でも連邦政府の最低賃金の30時間分と等しい収入を毎週得ている場合。
  - 少なくとも半日学校に通学する場合。
  - 妊娠している、または
  - 未成年の子供が含まれるCalFresh世帯で生活している場合（未成年の子供がCalFresh給付の資格がない場合も含む）。

次の場合、報告**することができます**。

- 身体的または精神的な病気が始まったか終わった者。
- 市民権や移民法上のステータスの変更のある者や米国市民権および移民サービス（U.S. Citizenship and Immigration Services, USCIS, 旧INS）から通知、書式、新たなカードを受け取った者。
- 扶養家のケア費用に変更があった場合。
- 障害者あるいは年齢が60才以上になった者で、医療費に変更があった者や新たな医療費が生じた者。確認できれば、あなたの割当額は、再計算される場合があります。
- 同居していない子供に対し、裁判所命令の養育費を払うようになった者。

報告は、次の方法を選ぶことができます。

- 郡のCalFreshオフィスへの郵送、電話、直接出頭するか、あるいは
- CF 377.5 CR CalFresh家庭変更報告書式（CalFresh Household Change Report form）を提出する。

暫定的なCALFRESH給付

カリフォルニア州の暫定的なCalFreshプログラム（Transitional CalFresh program）では、CalWORKsを中止する世帯に対し、5ヶ月間CalFresh給付を提供します。暫定的なCalFresh給付を受けるようになった場合、この給付を受けている間は、報告する必要はありません。

暫定的なCalFresh給付を受けている場合、さらに多くの給付を受けられるかどうか確認するために再度申請することができます。再度申請して通常のCalFresh給付が承認されると、通常の報告規則が適用されるようになります。